



カテゴリ: サステナビリティ

2024年8月19日  
第24049号

## 本邦初となる、電動トーイングカーを那覇空港で運用開始しました

～JALグループは環境に優しい空港作りを推進します～



JALは、2024年8月19日より、CO<sub>2</sub>排出削減や騒音の軽減が期待される電動で駆動するトーイングカーを本邦で初めて導入し、本格運用を開始しました。

トーイングカーは、航空機の出発時にプッシュバック（後進）や駐機場間での移動に使用される航空機牽引車です。導入するTLD社製の電動トーイングカーは、従来のディーゼルエンジン車と比較してCO<sub>2</sub>排出量をゼロに削減し、騒音レベルも約15%軽減します。さらに、フル充電の状態ですべて約23回のプッシュバックまたは、約8回のトーイングが可能で、全世界で43台の実績があります。

これまでJALグループでは、貨物用のけん引車両でプロペラ機をけん引する電動トーイングトラクターを導入していましたが、航空機を牽引するためにはより大きな電力を必要とするため、充電設備の整備が課題でした。

このたび、那覇空港に充電環境が整ったこと、導入する電動トーイングカーが運用可能なボーイング737型機を14機保有する日本トランスオーシャン航空が多数運航していることから、電動トーイングカーの効果を最大限に生かせる環境であると判断し、那覇空港での運用開始を決定しました。





【「結∞ACTION」と連携してエコエアポート化の取り組みを推進します】

JALはこれまで、脱炭素化に向けた国土交通省航空局が提唱する空港施設・空港車両のCO<sub>2</sub>排出削減などの取り組みを推進してきました。

さらに沖縄地区JALグループのSDGsの活動として日本トランスオーシャン航空が、美ら島の素晴らしい光景がいつまでも続くように、子供たちの笑顔を未来につなぐための想いをこめて「結∞ACTION」を制定し、各種の取り組みを進めております。

那覇空港におけるエコエアポート化の各種取り組みはこの「結∞ACTION」と連携して進め、沖縄県が掲げる「クリーンエネルギー・イニシアティブ」のアクションプランの着実な実施に貢献し、取り組みを通してより環境負荷の少ない空港作りを加速してまいります

○「結∞ACTION」参照ページ：<https://jta-okinawa.com/sdgs/>

想いを結。未来へ結。



JTA 結∞ACTION

JALは、これからも持続可能な未来の実現に向けて、引き続き環境負荷の低減に努めてまいります。

以上